

連携施設が備えるべき要件

I. 遺伝性腫瘍の診療実施状況と臨床遺伝専門医・乳腺専門医・婦人科腫瘍専門医・認定遺伝カウンセラーの配置・勤務等

① 遺伝カウンセリング等、遺伝診療のための予約方法、受診方法を具体的に記載

( ①初診 (院内他科受診歴がある場合) : 各診療科から遺伝診療部への紹介相談の連絡をする、受診適応有りの確認がとれたら、紹介元の主治医から患者に遺伝診療部の外来予約用電話番号を伝える。遺伝診療部は患者からの連絡を受けて、同診療部外来受診予約枠を確保する。遺伝診療部外来 (電話番号 xxxxxx)  
 ②初診 (院内受診歴が無い場合 : 医療連携室 (電話番号 xxxxx) を通じ遺伝診療部外来受診の依頼を行い、遺伝カウンセラーが折り返し電話をかけてプレカウンセリング下で情報収集等を行う。毎週〇曜 17 時開催の HBOC 合同カンファレンスで検討し受診方針を決定したら、再度依頼者へ電話して受診の日程調整を行い、外来予約を確定する。 )

② 申請時までの過去 1 年間 (20XX 年 09 月～20XX 年 08 月) の遺伝性腫瘍 (HBOC を含む) 臨床遺伝に関する診療実績

(過去 1 年間)	数
HBOC の遺伝カウンセリング実施患者数	10 例
HBOC の遺伝学的検査実施患者数	5 例
BRCA 陽性者患者数 (病的変異+病的変異疑い)	1 例
リスク低減乳房切除 (RRM) の実施患者数	0 例
リスク低減卵管卵巣摘出術 (RRSO) の実施患者数	1 例
乳房サーベイランス	
MMG (自施設/他施設) 実施患者数	5 例/0 例
US (自施設/他施設) 実施患者数	5 例/0 例
乳房造影 MRI (自施設/他施設) 実施患者数	0 例/5 例
卵巣サーベイランス実施患者数	5 例
その他の家族性腫瘍診療実績患者数	
① リンチ症候群	1 例
②	
③	

③ 上記の専門外来に関与する医療者の協力体制 (氏名・専門職名と具体的職務)

( ・京都花子 乳腺外科医師 : HBOC 患者拾い上げ、乳房サーベイランス、RRM の施行  
 ・大阪次郎 婦人科医師 : HBOC 患者拾い上げ、卵巣サーベイランス、RRSO 施行  
 ・東京太郎 遺伝診療部医師 : 遺伝カウンセリング、遺伝学的検査と結果解釈  
 ・名古屋月子 認定遺伝カウンセラー : 遺伝カウンセリング )

専門医取得・セミナー受講の有無にかかわらず、HBOC 診療に携わる医療者を記載してください。

④ 複数領域の専門医が参加する HBOC に関する定期的なカンファレンスの詳細 (過去 1 年間の開催日・内容を含む)

( 毎月第 1 月曜日 18 時 (2016 年 9 月 5 日… ) に病院第 1 会議室にて遺伝診療部、乳腺外科、婦人科による合同カンファレンスを開催している。カンファレンス内容は、症例検討と毎月の遺伝カウンセリング数・遺伝学的検査数の報告、サーベイランス状況の確認等である )

議事録があればご提出ください

II. 遺伝学的検査体制

BRCA 遺伝学的検査の実施方法・検査会社 (  遺伝子検査会社 )

III. 総合診療体制

- ① 連携している基幹施設名 ( ○○大学病院 )
- ② 連携している協力施設名 ( △△市立病院 )

IV. 症例登録

過去1年間の症例登録の登録家数及び担当者名 ( 50例 東京雪子 )

*BRCA* 遺伝学的検査実施症例  
は全例登録を徹底してください